

第4回 EAS エネルギー大臣会合 共同声明

2010年7月22日、ベトナム・ダラット

1. 第4回 EAS エネルギー大臣会合は、2010年7月22日にベトナム・ダラットで開催された。越・ホアン商工大臣が議長を、日・高橋千秋・経済産業大臣政務官が副議長を務めた。本会合には ASEAN 各国、豪、中、印、韓、日および NZ のエネルギー大臣と、ASEAN 事務次長が参加した。
2. 各大臣は、EAS 参加各国によるいっそう緊密なエネルギー協力を醸成するための活動に満足した。大臣は3つの作業項目における具体的な成果とイニシアチブを歓迎し、また、協力の成果を担当者・研究者レベルの相互認識に留めることなく、高位の政策決定者レベルまで共有することで、各国に蓄積された知識・経験や先進事例(ベストプラクティス)がより有効に活用されることに期待を示した。
3. 大臣は世界経済の情勢とそれがもたらすエネルギー需要の昨今の傾向への影響について意見を交わした。エネルギー需要の増加は、世界経済危機の影響を受けて減速していることを認識しつつも、世界経済の回復に伴って再び加速する傾向にあるという見方を共有した。大臣は、EAS 地域におけるエネルギー需要の増加が世界全体の増加量の大部分を占めるとの推定を確認した。
4. エネルギー価格の極端な変動が世界経済に与える悪影響を認識し、大臣は昨今のエネルギー需要回復がその価格に与える引上げ効果を注視すべく協調する。これを念頭に、IEA、OPEC 等のエネルギー関連機関により策定される価格形成メカニズムの解明に向けた各種の調査活動を支持した。
5. 大臣は、エネルギーと気候変動が密接に関係していることを認識し、気候変動問題への地球規模の取組みに対し積極的に貢献する意欲を表明した。
6. 大臣は、EAS 各国が自主的に設定した省エネ目標の達成に向け、それぞれの行動計画を着実に実行していることを評価した。大臣は、今後一層のアップデートを期待した。
7. 省エネ促進に関し、大臣は、次のような様々な活動に、EAS 各国を自主的に関与させるとの提案を歓迎した。(1)省エネ目標の達成度や行動計画の進捗状況、またこれらの達成を実現するための政策に関する情報の共有、(2)関心国の特定セクターに対する省エネ技術の普及を促進するため、ERIA が支援する省エネ・ロードマップ策定プロジェクト、(3)各国の行動計画の進捗を反映した、よりセクター毎のエネルギー受給見通しを深掘りするための、定期的な EAS エネルギーアウトルックの見直し、(4)関心国のエネルギー統計の充実の支援

8. 大臣は、ACE・ASEAN事務局の協力によるEAS・ASEAN+3共同の政策担当者向けワークショップの成果を確認した。省エネ・カンファレンス・プロジェクトの提案を歓迎し、第1回カンファレンスをラオスが ASEAN 事務局と ERIA と共同して2011年に開催することを評価した。大臣は、ERIAが策定した、省エネ推進と温暖化ガス排出削減に関する政策提言に留意した。
9. 大臣は、供給の持続可能性と環境への親和性を確保し、生物多様性を保護し、食糧安全保障への影響を最小限とする前提で、バイオ燃料への強い関心を再確認した。東アジアバイオ燃料データベースの編纂、輸送目的のバイオ燃料の調査員招聘プログラム、EAS・ERIA バイオ燃料ハンドブック2010の発行、EAS でのバイオマス活用に関する試験プログラムの進展を評価した。大臣は、種々の原料の開発とバイオ燃料の生産による持続可能な経済と社会福祉を促進するために、各国が更なる努力をするよう期待した。大臣はまた、バイオ燃料データベースの発展、バイオ燃料調査プログラムにおける新たな分野、バイオ燃料トレードハンドブックのアップデート、地域レベルを超えたバイオマス利用の評価及び種々のバイオ燃料の原料のライフサイクルの審査といったものをカバーする素晴らしいプロジェクトを精力的に追求する、ERIA と NEF による継続的な支援を見通した。
10. 大臣は、エネルギー市場統合フェーズ2の成果に留意した。大臣は、全ての経済レベルで購入しやすいエネルギーを供給する、より自由なエネルギー市場の利益、開かれた競争性のある、地域及び国際的な市場の発展に関する情報の共有に対し、フェーズ2が大きく貢献していることを確認した。大臣は、エネルギー市場統合作業項目が2007 エネルギー市場統合計画に基づきその目的を達成したことを認識し、エネルギー市場統合作業項目の更なる分析の必要性を審査するよう、エネルギー市場統合作業項目に要請した。大臣は、このことに留意し、ECTF は 2007 年からメンバーに共有されている情報に基づき、より自由化されたエネルギー市場がもたらす利益を ECTF メンバーがいかにして集合的あるいは個々に得るか、同時に市場規制の枠組みを改善し、エネルギー産業の繁栄のために主導的な環境を構築するために、協力方法を評価するよう要請した。EAS ECTF メンバーはまた、より自由化されたエネルギー市場の利益について考慮する際、APEC や IEA といった国際的なフォーラムや機関による関連業務を考慮するよう要請された。
11. 大臣は、EAS ECTF の様々な作業項目への ERIA による強固で活発なサポートを認識した。作業項目に期待される重要な節目となる段階の達成に対し、ERIA の価値ある支援が大いに貢献しており、大臣は、支援の継続を期待した。
12. 大臣は、EAS エネルギー協力のさらなる発展のため、2011年ブルネイで再会することに合意した。
13. 大臣は、ベトナムによる温かい歓迎と第4回 EMM のための素晴らしいアレンジに謝意を表した。